

第63回日本電気泳動学会総会

総会長 近藤 格（国立がん研究センター研究所）

会 期 平成24年8月20-21日、

会 場 沖縄コンベンションセンター（宜野湾市真志喜 4-3-1）

第1日目【8月20日】

8：00～9：00 理事会

9：00～9：45 評議員会

9：45～ 受付開始

10：10～10：15 開催挨拶：近藤 格（国立がん研究センター研究所）

10：15～10：45 教育講演

生命科学・医科学を支えてきた電気泳動の歴史と今後の方向性
戸田年総（横浜市立大学）

10：45～11：45 ワークショップ I: 基礎から臨床へ（I）

分子マトリクス電気泳動法を用いた糖タンパク質分析の新展開
亀山昭彦（産業技術総合研究所）

抗癌剤耐性打開に向けた二次元電気泳動の実例
藏光保宏（山口大学）

セクリトーム解析による新規卵巣癌診断マーカーの同定と臨床的有用性
荒川憲昭（横浜市立大学）

尿中エキソソーム成分から臨床検査診断薬開発へ
中山亜紀（文京学院大学）

11：45～12：10 休憩

- 12 : 10～13 : 10 ランチョンセミナー
バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
エーエムアール株式会社
- 13 : 10～13 : 20 休憩
- 13 : 20～14 : 20 ポスター発表 (ポスター&展示会場)
- 14 : 20～14 : 30 休憩
- 14 : 30～15 : 00 最先端電気泳動技術講演
リン酸化タンパク質解析のためのフォスタグテクノロジー
木下英司 (広島大学)
- 15 : 00～15 : 30 教育講演
慢性炎症性疾患におけるプロテオミクス
加藤智啓 (聖マリアンナ医科大学)
- 15 : 30～16 : 00 ワークショップ II: 新技術の展開と応用
アフィニティトラップポリアクリルアミドゲル電気泳動
(AT-PAGE) 法の開発
栗田ちひろ (大阪大学)
- 尿蛋白分析の今後の展開
久保田亮 (埼玉県立大学)
- 16 : 00～16 : 10 休憩
- 16 : 10～16 : 50 総会
- 16 : 50～17 : 00 国際交流奨励賞授賞式
- 17 : 00～17 : 30 国際交流奨励賞受賞講演
分子マトリクス電気泳動法の開発と応用展開
松野裕樹 (産業技術総合研究所)

17：30～17：40 写真撮影

17：40～17：45 閉会挨拶：近藤格（国立がん研究センター研究所）

18：30～20：00 「皆の電気泳動学会」交流セッション

第2日目【8月21日】

8：00～ 受付開始

9：00～9：30 会長講演
電気泳動法を用いた個別化医療のためのバイオマーカー開発
近藤格（国立がん研究センター研究所）

9：30～9：40 休憩

9：40～10：20 シンポジウム
MAP キナーゼ・シグナル伝達システムの活性制御機構と
癌におけるその破綻
武川睦寛（東京大学）

10：20～10：30 休憩

10：30～11：45 ワークショップ III: 基礎から臨床へ（2）
がん制御遺伝子 **KLF6** の肝細胞分化における役割
松本伸行（聖マリアンナ医科大学）

多発性骨髄腫におけるゲノム・エピゲノム解析と
トランスレーショナルリサーチの試み
安井寛（札幌医科大学）

プロテオーム解析を用いた
骨軟部腫瘍の個別化医療のためのバイオマーカー開発
窪田大介（国立がん研究センター研究所）

ジェムスシタビン耐性ヒト膵癌細胞株のプロテオーム解析
佐藤守（千葉大学）

In vitro モデルにおける巨核球の BDNF 発現調節機構の検討
田村彰吾（北海道大学）

11：45～12：10 休憩

12：10～13：10 ランチョンセミナー
GEヘルスケア・ジャパン株式会社

13：10～13：20 休憩

13：20～14：20 ポスター発表（ポスター&展示会場）

14：20～14：30 休憩

14：30～15：00 教育講演
各種プロテオミクス手法を用いた腫瘍マーカー候補
タンパク質の探索
佐藤雄一（北里大学）

15：00～15：10 休憩

15：10～15：20 日本電気泳動学会奨励賞授与式

15：20～15：25 次期総会長挨拶

15：25～15：30 閉会挨拶：日本電気泳動学会会長
前川真人（浜松医科大学）